

# 謹賀新年

平成23年新年のごあいさつ

市民との協働が着実に進展  
「幸福実現都市」に向かい全力で取り組む



牧之原市長  
西原茂樹  
Nishihara Shigeru

新年明けましておめでとございます。市民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。さて、昨年は牧之原市が誕生して5周年となる節目の年でした。

私は市長に就任以来、「市民のための市役所」、「フォーラムまきのほら」、「報徳」を市政運営の基本姿勢としてまいりました。職員は市民に対して公平公正であること、課題は関係者が集まり情報を共有して協働で解決を図ること、歳入に見合った財政運営、規律規範や道徳を尊重する人づくりなど、二宮尊徳が唱えた報徳の教え（至誠、勤勞、分度、推譲）に学ぶことです。5年間を振り返りまして強く感じることは、市民の皆さまが積極的に市政に参画し、まちづくりや課題の解決に行政と一体になって取り組む「市民との協働」が着実に進展

していることです。昨年12月12日、市民が中心の実行委員会によって「ピタミン発見100周年記念大会」が盛大に開催されました。イベントでは、本市で生誕し、オリザニン（ピタミンB1）を発見した鈴木梅太郎博士の顕彰とピタミンを生かしたまちづくりを進めるため、さまざまな事業が実施されました。図書ボランティアによる紙芝居と朗読や、教師団体と子どもたちによる「牧之原市を活性化する授業」、10年間続いてきた「心のピタミンI（愛）」の手紙は、はがきになり、さらに大きな輪が広がりました。

市内には生きていくために不可欠なピタミンのように、地域になくてはならない魅力的な人や組織がたくさんあります。こうした皆さまがより一層活躍できるように、ことし2月、市民や議会、行政などの役割を明らかにする「牧

之原市自治基本条例」を市議会定例会に上程する方針です。さて市内では、長年の懸案でありました「国道473号相良バイパス」が、西萩間インターチェンジと東名高速道路相良牧之原インターチェンジ間の完成により、1月23日に全線開通します。

また、昨年8月に重点港湾に選定された「御前崎港」は、県中西部の企業活動の活性化を図るために、さらなる充実強化が推進されます。開港2年目の「富士山静岡空港」では、県知事が提唱する空港ティールーテーション構想が進められるとともに、JR東海によるリニア中央新幹線計画が具体化してきたことと、東海道新幹線新駅設置の可能性が出てきました。本年も市民や議会の皆さまと共に、「幸福実現都市」に向かい全力で取り組んでまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

牧之原市議会議長  
田村兼夫  
Tamura Kaneko



謹賀新年 平成22年を振り返ってみれば、3月末の凍霜害はお茶のみならず作物全般に深刻な被害をもたらしました。ことしこそは穏やかな春が訪れ、豊作でありますようにと願わずにはいられません。書斎の窓から外を眺めていると、小菊が一輪、マキの木の根元で風に揺れているのが目にとまりました。日当たりも悪く、水一つ掛けてもらえないでもなく、肥料を与えられるわけでもないのに、時季が来れば与えられた環境の中で力いっぱい咲こうとしているそのけなげな姿には深い感動を覚えました。展覧会用の豪華な菊にはとうてい及びませんが、やはり心を打つものがあります。

翻って、わが身を眺めて見るに、今置かれている環境に感謝することなく、失敗の原因を他に求めることはなかつたか、反省しきりでありませ

昨年暮れには静岡県市町対抗駅伝競走大会の応援に出掛けました。大会の結果は、市の部で19位、初の10位台という好成绩でした。この素晴らしい活躍も、長い間、指導者と選手の間が一体となつて、黙々と練習に取り組んできたからと思っております。同じく暮れのことではありますが、地頭方地区といくらの開催された「鈴木梅太郎博士ピタミン発見100周年記念大会」に出席しました。

博士の偉業を伝えようとす

の技術を競う全国大会で、本市茶手揉み保存会が最優秀の成績を収められたとのことでした。この手揉みでは、小学生が大人に混ざって、取り組んでいたことが印象的でした。道路わきの花壇の手入れに熱心な人たちが、軒先運動を熱心に進め、子どもを安全を守っている人たちなど、市に貢献している人のボランティア活動は、枚挙にいとまがありません。

市を体に例えれば、市民が職業としての仕事にだけ努めることは、白米だけを食べていることと同じであり、それではかっけになつてしまします。ボランティア活動こそピタミンであります。ピタミンあつてこそ元気を保つことができるのです。ことしは、地道に努力を積み重ねて、牧之原市の名を高められている皆さんの活動の応援に、少しでも参加できた

地道に努力を積み重ねて  
元気を保つにはボランティア活動